



静岡鉄道が来春から導入する新型車両のカラーイメージ

新型車両7色 特産イメージ

静岡鉄道

静岡鉄道は、約40年ぶりにリニューアルする新型車両の外観に、静岡が誇る特産や地域資源をイメージした7色のカラーデザインを導入する。第1号車両は来年3月にデビューする。同社が100周年を迎える2019年度までにレインボー（虹色）カラーが出そろった予定。

外観カラーは、石垣イチゴ、サクラエビ、ミカン、ワサビ、茶、富士山、駿河湾をモチーフにした7色。静岡の街や沿線を彩り、県外や海外の乗客も呼び込む契機にする。

同社は、全12編成（1編成2両）を22年度まで8年がかりで更新する。車両形式は現行の1000形から、最新式のA3000形に切り替わる。7色以外の残りの5編成は銀色ベースにし、ラッピング電車などに活用する予定。

新型車両の情報はホームページなどを通じて発信するほか、第1号車両が何色になるか市民に予想してもらった試みも検討している。

40年ぶりー新 1号車、来年3月デビュー

2015年6月20日 朝刊

①外観カラーの7色は、何をモチーフにしているのでしょうか。

[]	[]	[]
[]	[]	[]
[]				

②自分の街や学校を表す色は、何色が似合うでしょうか。理由も合わせて書きましょう。

年 組 名前